

所蔵資料紹介

なぜ緑陰道路にユーカリの木?

緑陰道路を歩いていると、一本だけ立派に育っているユーカリの木が気になっていました。関西スーパー近くの緑陰道路の中央です。なぜここにオーストラリアの「コアラ」と並んで有名な「ユーカリ」が、しかも一本だけ植わっているのだろうという疑問がずっとありました。

「大阪から公害をなくす会」の資料の中に読売新聞・夕刊(1977年5月24日)「公害の町にユーカリ 大阪・西淀川/きれいな空を… 京都の園芸家がプレゼント」の見出しの記事を発見しました。

京都の園芸家は三田信一郎さんといい、敗戦で荒廃した国土にどんな木を植えたらいいかを考えているうちに、

ユーカリのことを聞いたそうです。様々な苦労を経て日本の風土に合ったユーカリの新種も作りだされています。

ユーカリは「葉の表面から白い粉をふき、害虫を防ぐ一方、酸素の供給量と炭酸ガスの吸引力が、他の植物より盛んで、空気浄化作用がある」とのこと

で“人類の進歩と調和”をテーマにした万国博のエキスポランドとオーストラリア館にも植えられ、その後四日市市に移植されたそうです。

「三田さんの夢は、開発で荒された日本の山野や、公害や過疎に悩む都市をユーカリの緑でいっぱいにすること。西淀川の公害患者が今月初め、公害差し止めと損害賠償を求めて提訴する話も聞き、是非とも公害防止に役立てたいと寄贈を思い立った」そう

で大阪市に20本寄贈したそうです。

「これに対して『西淀川公害患者と家



族の会』の森脇君雄事務局長は、準備を進めている訴訟のシンボルといふと言っている。」…という記事です。

京都の園芸家の“ユーカリ”をめぐつて、ここでも公害反対に立ち上がった人々への共感が見事に表現された記事でした。

(天野憲一郎)

北九州市環境ミュージアム

やかた
館
訪問記

〒805-0071 八幡東区東田2-2-6
TEL : 093-663-6751
<http://eco-museum.com/index.html>

北九州市といえば、日本初の官営製鉄所が1901年(明治34年)に操業した街です。現在は新日鐵となっています。1960年代には西淀川や四日市と同じく大気汚染が問題となります。原因は工場からの煙です。

北九州市は、家庭の主婦たちが大気汚染を測定してデータを作り、映画を作成して市民や行政に訴えて、対策が講じられるようになったというエピソードがあります。北九州市環境ミュージアムでは、主婦が作った映画や、当時の様子のジオラマなどの展示があります。環境ミュージアムの近くには、東田第一高炉が保存されており、製鉄の仕組みが分かるようになっています。北九州に行ったときにはぜひ立ち寄ってほしいスポットです。(林)



東田第一高炉は中に入れます

編集後記

暑い季節がようやく終わり、朝夕肌寒くなったり、金木犀の香りがしたりと秋の気配を感じるようになりました。あおぞら財団のすぐ傍に走る大野川緑陰道路でも、落葉樹が葉を落とし、枯れ葉の絨毯で子供たちが遊ぶ姿も見られます。何より私は、季節の変わり目を飲みたくなるお酒の変化で感じます。ビールから赤ワイン、焼酎がいいですね…。(M)

資料館だより No.46
2013年11月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>

【**エコミューズ活動資金
ハモン基金**】
寄付協力のお願い
エコミューズを支えてください。
あなたの寄付金は青空へつながります。
ささいな寄付でも嬉しいです。
郵便局からお振込いただけます。また、直接ごみ箱に入れてください。
結構です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

●
【**ボランティア隊
エコミューズ★募集**】
あなたも「エコミューズ★」に参加しませんか?
展示、イベントの手伝いや、運営の場がいっぱいです。
どうぞお気軽にお問い合わせください。
交通費●実費支給(上限2000円)



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]
利用●図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ